

Q なぜ、本気で行革しないのか？

A 減収補填債（借金）に依存できるから！

answer

平成21年9月、県において500億円足りないという試算がされた段階で、緊急措置を財政課は全ての課によびかけるべきであった。しかし、財政課主導で減収補填債という借金を、上限・709億円（建設分は別に194億円）まで発行することで、平成21年度は355億円金が余ることになる。このように減収分を借金で補填できる国の制度がある以上、全ての部局で本気になって節減、工夫をしようという雰囲気になろうはずがない。130箇所以上の県施設視察を経て出会ったのは、今の社会課題を真摯に受け止め、果敢に行動する社会福祉法人、NPO、ボランティア、そして企業の方々などだ。彼らの志を抑制することなく、ともに行動し、この難局を打開すべきである。



以下、県民企業常任委員会 平成22年3月4日（木）

井手たくの問い

神奈川県の平成21年度の財源不足が改めてH21年9月に500億円足りないと発信されたようだが、これについて財政課から県民部にどういう形で、通知がされたか伺いたい。

県民総務課長の答え

財政課のほうから正式な通知は出ていない。総務課長会議、プロジェクトチーム会議等々で、500億円足りないという話は財政当局から聞いている。

井手たくの問い

県民部として改めて何か取り組みということはなかったのか。

県民総務課長の答え

足元からの経費節減という取組みを進めている。

県資料データより

平成21年度の財政収支見通し（単位：億円）

項目	変動額
県税の減収	△503
地方譲与税	△109
県債追加発行（減収補てん債 特例分）	709
その他の収入増	324
歳入の変動（A）	421
各部局の節減等	△36
その他の支出増	102
歳出の変動（B）	66
差引＝活用可能財源（A）－（B）	355

問題の
財源不足

なんとこれが
余った金額！

節減・抑制
による減等
36億円

355億円

予測された
収入

基準財政収入額

県債発行等による収入

安易な
県債発行

僅かな
行革分

H21年度に
余ったお金